

いわざ民報 発行所 行きわい 社報民 (第一八三號) 地方新聞 日野市 日野町 日野郡 日野市 日野町 日野郡 日野市 日野町 日野郡

新屋硝子工業株式 硝子製品一切の製造 醫藥用、化學用其他 硝子製品一切の製造 平市町 電話七二四番

日野派の壓倒的勝利へ

純農民派も施す策なく敗退 日農郡協議会の結成大會で

解散か、除名かの危機を孕んで者の四名連記に依り日野派一派 日農郡協議会の結成大會は八の壓倒的勝利に終つた。 日野市から公會堂廣間に開かれ、 日野八代氏の會長問題を回つて純農民派と政黨派側の論議 百出したが、八百板正議長の斷りに依り縣聯合會の認可せざる會同會計監査二名の内一名は次の長は認められない、鹿島、大連協議員より選出する、從來の各野、舊玉川、三阪各支部幹部な町村の執行委員は廢止して協議するも三分の二以上出席してゐる員を設置、各町村支部より二名故新規約に依り大會を進行する宛推薦する事になつた、終つて旨決定され、茲に紛糾を重ねた、勇賀武氏より二十一年度産米及同問題も純農民派のえなき及び甘藷の割當に就いて報告あり退に依つて解決した、役員出席簿を閉じた

自治會館建設 町村制改正を 記念して計畫

郡町村長會の評議員會は十四日 午前十時から市内マルトモホー ルに開催、町村制改正記念式に 自治會館建設することになつた ので、右についての具体的計劃 その他について協議する

磐南臨鐵の 株式募集

江名、豊間兩町で 早くも見送つて 磐南臨鐵株式募集は江名町 並に豊間町の協力を依り株式 百五十萬圓、社員百五十萬圓は 應募確實となり地元小名濱の狀 勢によつては更に進んで應募の 余力を示してゐるが右について 本前江名町長は語る

監視員を設け 横流れを防止 専賣局平出張所管内の葉煙草收 納は今月下旬山間方面を皮切り に實施となるが、これが横流れ 完封に監視員を擧げ防止するこ ととした、横流れした耕作者には 特配をも停止して斷乎處罰する

平司法陣強化

齊藤主任も着任 矢吹警部補派出所から榮轉の平 署司法主任齊藤憲藏警部補は五 日着任したが、これと同時に司 法陣容を強化、四倉手塚留吉、 小名濱に阿部覺兩刑事部長を配 置した

秋晴の天氣はまた 十日頃から又崩れて雨續き

米の收穫期を控へて雨つゞきの のり曇つたりで雨はみまいが、そ の後は又崩れと雨となる、この 雨があらぬ中は秋晴れの好天 氣は望み得ない

総額廿萬圓 十月中の救護費

生活保護法の實施ととも生活 援護を受けてゐる市内の生活困 窮者は二百七十世帯、千二十六 名となつてゐるが、十月中の救 護費總額實に二十萬圓にも達し てる

第一回交渉は物別れ 平驛前疎開跡地借地權問題

平驛前強制疎開跡地への洋書専が、同氏もさきの借地人に貸す 間劇場オリオン座建設に反對し て立つた平借家人同盟及び海外 引揚者等協会の代表は去る三 日地主馬目太平治氏と會見取消 の損害の負担をどうして貰ふか の解決点をみず終つたが、右で少いので、希望者は十四日迄 に必ず出願するやう八日復又 は思ふが、既にオリオン座主 原猪瀬夫氏と契約した以上、取 消しは出来ぬ、惠原氏と話し合 上解決されたいとの回答に更 なる交渉は無効である、故にこの契約として嚴罰に處せらるゝと 主張する

大幅な値上げ 靴自轉車修繕 染色加工料金 東北六縣物價連絡會議の結果、 調停評決に依らずして何となく 満解決が出来ぬものと信じ近再 更に馬目、惠原兩氏に對し、 交渉を断つてしまつた尚借家 人同盟顧問齋藤士市井茂氏は臨 時措置法の公布を見た以上さき の借地人が借りることは問題で ないとの見解を示してゐる

原町金星と 平三町目

軟式野球演習代表 第五回縣下軟式野球演習代表 選出は六日平南球場で開催したが左 が現はれたので、荷受組合では平 野と協力これ等プロカー退治 町金星が代表となつた、兩チに 乗り出した

未弘嚴太郎氏招き 炭礦勞資協調委員會設立打合せ

石炭礦業主催の勞資協調委員 會の設立は去る四日湯本の勞組 事務所で勞働者側との懇談會、 五日の常陽銀行樓上で資本家側 との懇談會も終り来る十二日石 炭礦の岡松次長、中央勞働委員 の末弘嚴太郎氏を招き常陽銀行 樓上で最後の打合せを行ふ事 に 二〇日

新規出願も 許されます 狩獵期を前に 平署から注意

狩獵期を前に 平署から注意 狩獵期を前に 平署から注意 狩獵期を前に 平署から注意

清潔法の注意

平市の秋季大清潔法は七日から 三日間左記日割で行はれる管の ところ雨天の爲延びたが例年に なき今夏の猖獗を極めた傳染病 の發生と戦時中の不潔及各家庭 雑居に依る衛生不備に對して左 記要領を徹底的に履行する様市 民に要望してゐる

米の闇で 小名濱町大字愛家大工片寄利 綱(四八)は昨年十月頃泉村下川 農江尻郷から玄米四斗俵一俵を 四百圓で買ひこれを全町間小名 佐藤治三郎(五三)へ一千四百圓で 賣却、千圓の不法超過を得て六 日平署へ檢舉

偽組員現る

最近市近郊に荷受組合員と稱し て農村から出荷の野菜を買上げ てもらふとをうらまますプロカー が現はれたので、荷受組合では平 野と協力これ等プロカー退治 町金星が代表となつた、兩チに 乗り出した

いわざ寸言

降りつゞいた雨も漸くあがつ て、久方振り陽に光をみたが、 小名濱測候所の観測では三、四 日で又雨續きとなるとある、收 穫期に入つて来た折柄早く雨よ みがれと祈るのみ

父長資

儀葬送の際には御遠路御命被下且つ御 鄭重なる御芳志を賜り有難く御禮申上候拜禮御禮可 申上處乍界儀以紙上御挨拶に代へ申候 昭和二十一年十月八日 平市大工町二三 嗣子(未歸還) 愛澤正長 親戚 中川良助 井上貞治 郎

福島縣指定事業重點工場 平硝子製作所 平木工株式會社 社長 佐藤幸太郎 専務取締役 足助重雄 本社 平市新町二六 電話七二四五七七一 東京事務所 東京都芝區新橋 一ノ三(八)鳥糞ビル 電話(57)四八三三番 工場電話 二九二二七三 三八九八三五五〇番

